



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年11月5日

上場会社名 株式会社フォーラムエンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 7088 URL https://www.forumeng.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 細野 恭史 TEL 03 (3560) 5505
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,129	△12.7	925	△60.2	922	△60.2	627	△60.7
2020年3月期第2四半期	16,190	—	2,322	—	2,320	—	1,594	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	23.50	23.38
2020年3月期第2四半期	59.89	—

(注) 2020年3月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	21,022	12,212	58.1
2020年3月期	17,059	12,842	75.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 12,212百万円 2020年3月期 12,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	48.00	48.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,440	△14.6	1,490	△63.5	1,460	△61.1	1,000	△53.2	37.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	26,709,600株	2020年3月期	26,673,900株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	一株	2020年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	26,687,215株	2020年3月期2Q	26,627,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期財務諸表に掲記される科目その他の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期会計期間及び第1四半期累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前会計年度についても百万円単位に組み替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発令されたことから個人消費や企業活動が制限され、景気が急速に悪化いたしました。緊急事態宣言解除後は、景気に持ち直しの動きがみられるものの、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、エンジニア派遣サービス「コグナビ 派遣」におきましては、顧客である機電系大手製造業の需要が鈍化したことなどから、稼働人員数が前年同期に比べ減少いたしました。技術社員の稼働時間は、企業活動再開に伴い回復しつつありますが、緊急事態宣言により出勤日数や残業時間が制限されたため前年同期に比べ減少いたしました。また、派遣法改正、所謂「同一労働同一賃金」の実施に伴い、派遣単価は前年同期末に比べ上昇しております。

機電系エンジニア人材紹介サービスである「コグナビ 転職」は、今春のテレビCMの効果もあり、当第2四半期累計期間における新規登録者数が前年同期に比べ増加いたしました。企業が採用活動を手控えたため、「コグナビ 転職」を利用して成約した転職者数は前年同期を下回りました。「コグナビ 転職」に対しては、機電系エンジニア以外に転職を希望するITエンジニアからも高い関心が寄せられていたため、7月31日にITエンジニア人材紹介サービス「コグナビ 転職IT」を開始いたしました。

このような状況の中、当第2四半期累計期間の売上高は14,129百万円（前年同期比12.7%減）となりました。政府からの雇用調整助成金496百万円の受給に加え、派遣人材募集費387百万円を削減したものの、売上高が前年同期に比べ2,061百万円減少し、テレビCM等によるプロモーション費用453百万円を計上したことから、営業利益925百万円（同60.2%減）、経常利益922百万円（同60.2%減）、四半期純利益627百万円（同60.7%減）となりました。

なお、当社はエンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は17,826百万円となり、前事業年度末に比べ4,210百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が4,898百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,195百万円となり、前事業年度末に比べ247百万円減少いたしました。これは、主に無形固定資産が185百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は21,022百万円となり、前事業年度末に比べ3,963百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は8,809百万円となり、前事業年度末に比べ4,592百万円増加いたしました。これは、主に2020年4月21日開催の取締役会決議に基づき実施した借入により短期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,809百万円となり、前事業年度末に比べ4,592百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産合計は12,212百万円となり、前事業年度末に比べ629百万円減少しました。これは、主に配当金の支払いにより利益剰余金が653百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は58.1%（前事業年度末は75.3%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ4,898百万円増加し14,247百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は1,438百万円となりました。

これは、主に税引前四半期純利益922百万円の計上によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は281百万円となりました。

これは、主に有形及び無形固定資産の取得による支出383百万円によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果得られた資金は3,741百万円となりました。

これは、主に短期借入れによる収入5,000百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く事業環境は2021年3月期第3四半期以降も新型コロナウイルス感染症の影響を受けるものと考えておりますが、業績回復時期が来期以降になるという前提条件で策定いたしました2020年8月6日発表の「2021年3月期 第1四半期決算短信」の通期業績予想に変更はありません。

最近の当社の主な取り組みは以下のとおりです。

企業内エンジニア配置最適化サービス「コグナビ タレントマネジメント」は、10月1日よりサービス開始となった1社をはじめ、同サービスに高い関心を持つ複数のトライアル企業との契約締結を目指します。また、人事業務専門の展示会に出展し、同サービスの認知向上を目指してまいります。

新卒理工系学生就職紹介サービス「コグナビ 新卒」は、その利便性向上を図るため、学生の履修科目に合致するインターンシッププログラムをマッチング順に表示し、その中から学生が希望するプログラムへの応募を可能にした「インターンシップマッチング機能」を10月2日に追加いたしました。

企業内エンジニア向け研修の仲介サービス「コグナビ カレッジ」では、10月21日に福井県の大学がリモートで大阪府の企業向けに大学の授業科目をカスタマイズしたエンジニア育成研修を実施いたしました。当社は、新型コロナウイルス感染症の影響により対面での研修が難しい状況下でも、オンラインの普及を利用して全国の大学で実施できる企業内エンジニア向け研修の仲介サービスを推進してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,348	14,247
受取手形及び売掛金	3,961	3,429
その他	306	150
流動資産合計	13,616	17,826
固定資産		
有形固定資産	494	544
無形固定資産		
ソフトウェア	1,588	1,337
その他	25	92
無形固定資産合計	1,614	1,429
投資その他の資産	1,333	1,221
固定資産合計	3,442	3,195
資産合計	17,059	21,022
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	5,000
未払金	1,436	714
未払法人税等	198	325
賞与引当金	1,399	1,711
役員賞与引当金	—	20
その他	1,182	1,037
流動負債合計	4,216	8,809
負債合計	4,216	8,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	105	117
資本剰余金	117	129
利益剰余金	12,619	11,965
株主資本合計	12,842	12,212
純資産合計	12,842	12,212
負債純資産合計	17,059	21,022

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
売上高	16,190	14,129
売上原価	10,692	9,956
売上総利益	5,498	4,172
販売費及び一般管理費	3,175	3,247
営業利益	2,322	925
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取手数料	1	1
還付加算金	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	2	2
営業外費用		
支払利息	0	4
シンジケートローン手数料	1	0
上場関連費用	2	—
営業外費用合計	4	5
経常利益	2,320	922
税引前四半期純利益	2,320	922
法人税等	725	295
四半期純利益	1,594	627

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,320	922
減価償却費	368	347
賞与引当金の増減額（△は減少）	156	312
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	—	20
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	0	4
シンジケートローン手数料	1	0
上場関連費用	2	—
売上債権の増減額（△は増加）	254	531
未払金の増減額（△は減少）	△196	△552
その他	△148	△12
小計	2,758	1,573
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△5
法人税等の支払額	△1,095	△129
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,663	1,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△441	△383
差入保証金の差入による支出	△3	△1
差入保証金の回収による収入	6	164
資産除去債務の履行による支出	—	△59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△439	△281
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	5,000
リース債務の返済による支出	△15	△5
株式の発行による収入	—	23
配当金の支払額	△2,236	△1,276
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,253	3,741
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,029	4,898
現金及び現金同等物の期首残高	9,709	9,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,680	14,247

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

当社はエンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。